

教育学部 教育学科 【幼児教育コース】 履修モデル

教育目標：

教育や保育の実践の場で専門性を発揮できる教員や保育者、および現代的な種々の教育課題に応じる教育人となるために必要な高い資質能力を身につけることが教育目標です。

幅広い教養に根ざした、乳幼児期・児童期の理解と、幼児教育・小学校教育に関する基礎的および専門的な知識と技能の取得によって、学校教育や保育の場でその専門性を発揮できる人を育成します。

育成すべき学生像：

- ① 学校教育や保育に関する専門的知識と技能を取得し、それを現場で柔軟に活用することができる実践的指導力を有した人を育成します。
- ② 発達障害や特別支援教育に関する専門的な知識を身につけ、学校教育や保育の場で、乳幼児および児童の成長・発達を適切に支援することができる人を育成します。
- ③ 福祉科学の視点を有した知識を修得し、多角的な視点から現代社会の教育課題に対応できる豊かな感性を持つことで、教育産業等で活躍ができる人を育成します。

1 年次

■ 教育・保育の基礎理論を学ぶ

「基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ」「教育学入門Ⅰ・Ⅱ」「教育原理」「保育原理」「保育の心理学」「教育心理学」「教育課程論」「保育の計画と評価」「社会福祉」「子ども家庭福祉」

2 年次

■ 教育・保育の技術・方法を学ぶ

「基礎ゼミナールⅢ・Ⅳ」「保育内容総論」「保育内容演習（言葉）・（健康）・（人間関係）・（環境）」
「子どもの理解と援助」「子どもの保健」「子育て支援」「保育実習指導Ⅰ（保育所）」
「保育実習Ⅰ（保育所）」「特別活動の指導法」

3 年次

■ 教育・保育の実践力を修得する

「研究演習Ⅰ・Ⅱ」「教育相談の理論と方法」「幼児理解の理論と方法」「特別支援教育論」
「子どもの健康と安全」「子どもの食と栄養」「教育実習」「保育実習指導Ⅰ（施設）」「保育実習Ⅰ（施設）」

4 年次

■ 教育・保育の実践力を深化させる

「研究演習Ⅲ・Ⅳ」「教職実践演習（幼・小）」「保育実践演習」



